

2016年1月5日

前述したように地球内部のマントル対流の安定点が、すでに大きく変化してしまったのではないかと  
思っております。この結果として最近特に磁極の移動が大きいと言われており、当然のことながら、陸  
上部の移動に伴い、大陸移動のため大きなストレスが大陸に掛かり各地で地割れ、シンクホールなどの  
現象が起きているのではないかと思っております。当然昨年は海洋底の隆起とか沈降も多々報じられた  
のではないかと思います。気候の変化もエルニーニョの影響と報じられておりますが、マントル対流の  
位置が変わったことにより地熱の変化もあると見られ、海洋の温度変化等も起きていると思われま  
す。決して CO2 による温暖化等の影響ではないと考えます。エルニーニョの拡大さえこの地熱変動によ  
っているのではないのでしょうか？ 今年 2016 年もこの影響は続くと思われ、各地で地殻異常、気象異常  
が前年より顕著に見えてくるのではないかと思います。まさに日本沈没までは至らないものの同等レ  
ベルの現象が日本にもたらされると思います。

話は変わりますが、前回、考古学者の大島直行先生に素人の私が、メールにて先生のご意見を求めて  
しまいました。まことに恐縮していた次第で、メールの返信も期待しておりませんでした。ところが先  
日、先生から小包が届き、中に先生の御本「月と蛇と縄文文化」が先生のサイン入りで、しかも私宛の  
名前入りで小包に入っておりました。また先生の直筆の手紙と、幾つかの雑誌のコピーが同封されてお  
りました。大変驚き、恐縮した次第です。素人の戯言と聞き流されても仕方ないと思っていた矢先でし  
た。申し訳ないのですが先生の手紙は字があまりうまいとは言えず、一度パソコンに書き直してから再  
度読ませていただきました。見れば、日本の考古学会の問題点を遺物分類主義に偏っていて唯物的過ぎ  
ることを嘆いていらっしや、現代人の思考方法と違う縄文人の考え方を踏まえて、もっと精神文化に  
力点をおかないと縄文文化は理解できないと仰っており、また私が素人の分際で指摘した海外との文化  
の交流を検討し始めたところだと言う内容を書かれており、決して素人に対しても丁寧に対応して  
いただき、幾つかの雑誌のコピーを同封していただき、大変恐縮した次第です。私のような考古学素人に対  
しても丁寧な返事を頂、また先生の縄文文化の考え方を理解し、先生の人柄がわかりました。感謝です。  
頂いてから早速先生の御本とコピーを読み始めました。お知り合いになれて(と言っても顔なじみとい  
うわけではありませんが)、良かったと感謝しております。あまりしつこくにはならない程度にご意見  
を伺いたいと思っております。